

令和5年度

事業報告書

自 令和5年 4月 1日  
至 令和6年 3月 31日

神奈川県厚木市旭町 1-25-1 ミハラス 3階  
公益財団法人健康予防医学財団

## 1. 概況

### 1-1 受診者数の推移

公益財団法人健康予防医学財団（以下当財団）は、平成23年4月に移行認定を受けた。当期は第12期に当たる。

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の年間受診者数は、前事業年度比104.9%の43,305人だった。内訳をみると、人間ドックが前年比111.9%の9,255人と受診者数が増加した。また、生活習慣病健診、定期健診も前年度に比べ増加した。

	令和4年度	令和5年度	前年比
受診者数	41,263	43,305	104.9%
人間ドック	8,274	9,255	111.9%
生活習慣病	14,435	14,731	102.1%
定期健診・その他	17,076	18,149	106.3%
婦人科検診	729	429	58.8%
市町村検診	749	741	98.9%

（単位：人）

受診者数の増加に対し、安全かつ正確に検査を実施することができ、広く県民に対して受診機会を提供することができた。

### 1-2 売上規模と経費

令和5年度の売上は、前年度比約108%の約10億180万円となった。総合健診（人間ドック）の売上は前年度比約107%の約4億1,400万円で、一般健診の売上は前年度比約109%の約5億8,290万円だった。

経費については売上増加率に対して比例した増加ではあるが、次年度も引き続き、適正化を図っていく。

## 2. 健診業務関連部分

### 2-1 精度管理の状況

日本総合健診医学会の指導のもと、本年度も胸部X線や心電図、生化学検査、他の関連検査の精度が正常かをチェックした。実施日と結果は以下の通り。

実施機関	実施月	実施内容	結果
日本総合健診医学会	令和5年4月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好
		HbA1C精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		尿一般精度調査	精度管理良好
		便潜血精度調査	精度管理良好
	令和5年7月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		便潜血精度調査	精度管理良好
	令和5年9月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好

		HbA1C 精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		尿一般精度調査	精度管理良好

## 2-2 職員の状況

令和6年3月31日現在の職員構成は以下の通り。

職種		人数	摘要
医師：内科	常勤	1	院長
：内視鏡専門医	常勤	1	
：内科	常勤	1	
：内視鏡専門医	常勤	1	
：内科	非常勤	1	毎週土曜日
：内科	非常勤	1	第1・第3・第5土曜日勤務
：内科	非常勤	1	第2・第4・第5土曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週月曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週火曜日
：産婦人科	非常勤	1	毎週水曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	第1・第3・第5木曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	第2・第4・第5木曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週金曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	第1・第3・第5土曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	第2・第4・第5土曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	毎週月曜日水曜日金曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	火曜日・木曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	金曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	第1・第3・第5土曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	2	第2・第4週土曜日勤務
：放射線	非常勤	1	毎週木曜日勤務
看護師	常勤	9	
看護師	非常勤	13	指定日に勤務
診療放射線技師	常勤	4	
診療放射線技師	非常勤	2	指定日に勤務
臨床検査技師	常勤	9	
臨床検査技師	非常勤	8	指定日に勤務
管理栄養士	非常勤	2	指定日に勤務
看護助手	常勤	4	

看護助手	非常勤	4	指定日に勤務
事務職員	常勤	24	
事務職員	非常勤	1	指定日に勤務
事務局員	常勤	1	

#### 役員（理事、監事）の状況

役職	氏名	現職
理事長	成澤 勉	ヘルスケアクリニック厚木 理事長
副理事長	斐 英洙	ヘルスケアクリニック厚木 統括院長
専務理事	武本 吉功	株式会社ベルコーポレーション 代表取締役
常務理事	横田 春樹	ヘルスケアクリニック厚木 医療部長
理事	横須賀 浩二	
理事	神戸 義人	ヘルスケアクリニック厚木 院長
理事	川原 輝久	
監事	尾中 直也	尾中直也公認会計士事務所

#### 2-3 総合判定の割合

令和5年度の健診結果の総合判定の割合は、A判定が3.67%、B判定が8.75%、C判定が38.19%となった。D～F判定が全体の49.4%と半数近くを占めることから、受診者の健康状況の改善をいかにして進めていくのかが重要となっている。

C判定及びD判定が全体の69.5%となることから、未病の段階にいる受診者がかなり多いことが伺えた。引き続き、神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室未病産業グループとの連携をさらに強化し、未病の研究を実施していくと共に、これらの層を中心に保健指導の実施やイベントの企画や情報の発信を行い、さらなる市民の健康増進に注力していく。

令和4年度総合判定	人数	割合
A	1,573	3.67%
B	3,751	8.75%
C	16,367	38.19%
D	13,440	31.36%
E	132	0.31%
F	7,597	17.73%

### 3. 健康知識普及業務関連部分

#### 3-1 特定保健指導

令和5年度の特定保健指導における初回面談実施件数は、積極的支援390件（前年度363件）、動機付け支援283件（前年度291件）で合計673件（前年度654件）。昨年度対比で102.9%と増加となった。2名体制での特定保健指導と当日の面談実施だけでなく、電話での面談対応を行うことで面談実施回数は増加している。

特定保健指導に関しては全国健康保険協会の調査では医療費節減の効果があり、国立循環器病研究センターの研究ではメタボリックシンドロームのリスク軽減が科学的に証明されている。特定保健指導に参加することでの効果を踏まえ、受診勧奨対象者も含めて情報提供を強化し、支援実施者を引き続き、増加できるように改善していく。

特定保健指導内訳		令和4年度	令和5年度
積極的支援	個別契約	339件	368件
	その他契約	24件	22件
動機付	個別契約	263件	256件
	その他契約	28件	27件

### 【参考 保健指導を受けた人の感想】

#### ■積極的支援

##### ① 50代 女性

(結果) 体重-5.5kg 腹囲-12.5cm

(コメント) 身体が軽くなり、長時間歩いた後足が痛くなることがなくなった。  
同僚から、背中肉と腰回りの肉が減ったねと言われた。  
パンパンだったズボンがゆるくなった。

##### ② 40代 男性

(結果) 体重-11.1kg 腹囲-11.0cm

(コメント) ベルトの穴が2つ分減った。

LDL改善 173 (5/24 健診) →119 (10/20 検査結果)

##### ③ 50代 女性

(結果) 体重-6.6kg 腹囲-4.5cm

(コメント) 血圧正常値で安定しています。体重は最近停滞気味でなかなか減りませんが、2022年10月の健康診断からは約11キロ落ちました。  
普段意識していなかった食の嗜好や習慣を見直して健康を取り戻したと実感しています。意識して生野菜や果物をとるようになって、美白無しで肌が明るくなったようです。洋服もサイズダウンしました。今まで更年期のせいだと思っていた日々の体調不良が改善したのも驚きです。

#### ■動機付け支援

##### ① 50代男性

(結果) 体重-7.8kg 腹囲-6.5cm

(コメント) ズボンのサイズはLからMに、Tシャツが似合う体型になった。

親から「別人のように痩せたね」と言われた。自分としては無理していない

##### ② 50代女性

(結果) 体重-8.2kg 腹囲-8.2cm

(コメント) 身体が軽くなり、歩いたり、階段を上るのが楽になった週一で行っていた運動も引き続き行いたい。

##### ③ 60代男性

(結果) 体重-5.4kg 腹囲-0.5cm 血圧 155/94→128/87

(コメント) お腹周りの浮き輪みたいな肉が取れて、血圧が下がった

### 3-2 市民向け無料勉強会・セミナー

#### 1. JMS（ジャパンマンモグラフィ・サンデー）

毎年10月に開催される、働く女性を対象とした乳がん検診の受診勧奨イベントであるジャパン・マンモグラフィ・サンデーはコロナ禍もあり、前年度から再開。今後も継続開催し、乳がん検診の受診勧奨を行っていく。

### 3-3 啓発活動

#### 1. 疾患別リーフレット事業

健康診断で得られた情報を分析し、発症率の高い疾患 5 種を抽出。抽出した疾患の啓発リーフレットを作成。自治体、企業、医療機関に配布。

#### 2. 検査ガイドブック事業

一般的に健診施設で行われている検査項目に関するガイドブックを作成。検査の目的、基準値、異常値が出た際に考える症状や病名、今後のアドバイスなどを分かりやすく記載。検査の内容や意味を知っていただくことで、健康意識が変わり病気の早期発見、早期治療につなげていくことが目的。自治体、企業、医療機関に配布。

#### 3. AI による健診結果解析システムの活用

AI による診断結果解析システムは令和 2 年度から本格的に運用を開始。AI の診断結果は健診結果と合わせて、より細やかな改善指導や支援に活用でき、受診者の変容に大きく寄与している。

#### 4. 神奈川県みらい未病コホート研究への協力

生活習慣や健診検診データから疾患リスクを明らかにし、疾病予防に役立てることを目的とした「神奈川県みらい未病コホート研究」において、神奈川県と連携し、研究に必要なデータ収集に協力。

厚木市在住の 20 歳以上の方を対象にデータ収集に必要な下記の検査を実施。今後は年 1 回継続して実施し、研究協力だけでなく、疾病予防の啓発に繋げていく。

〔検査内容〕

- ・生活習慣に関するアンケート
- ・未病指標の測定
- ・尿検査
- ・血液検査

また、2024 年 1 月には神奈川県や神奈川県立がんセンター、神奈川県立保健福祉大学と「未病指標の社会実装に向けた研究及び事業化の加速に関する基本合意書」を締結。当財団は、未病指標の社会実装に向けた関連企業の参入や企業間連携に向けたコーディネート、研究データの提供の面で貢献していきます。

以上